

めぐみっこだよい

2018.5.23(水)

5月も後半に入りました。日差しの強い日はありますが、さわやかな風が吹き、お散歩日和の日が多くなりました。

さて、月に2回、第2・第4水曜日の9:30~11:00に行っているホール開放で、今回は、わらべうたの伝承あそびを取り上げました。ゆったりと遊びながら、親子で一緒にいる時間を楽しんでもらえたら幸いです。

わらべうた遊び

♪ いっぼんぼし こちょこちょ ♪
だるまさん、だるまさん ♪

これから、夏に向けて、お天気の良い日は、園庭の砂場も開放いたします。砂遊びや、泥んこ遊び、水遊びなども楽しんでいけたらと、思っています。

ホール開放にお越しの際は、汚れても大丈夫な洋服をご用意いただき、思いっきり、お子さんと一緒に、泥団子を作ったり、砂山トンネルを作ったり、水遊びをして楽しんでみてください。

ご近所のお友達も、お誘いあわせの上、お出掛けください。お待ちしております。



〈楽しみながらお手伝い♪〉

「お子さんと一緒に食材の下処理などをする事で、
“食べるもの・食べること”への興味が湧きます！」

「こどもが野菜を食べなくて困ります～(*_*:」という話を、よく耳にします。小さい頃は、まだ味覚が未発達で、苦みを感じてしまうとピーマンなどは食べられない子が、多いようです。でも、子どもには、好き嫌がなく、食べてほしいものです。そこで今回は、保育園でも人気のお野菜を使ったお手伝い活動を紹介します。



- ✚ グリーンピースのさやむき
- ✚ スナップエンドウのすじ取り
- ✚ そら豆のさやむき
- ✚ ブロッコリの房もぎ
- ✚ かぼちゃの種取り

自分かお手伝いした食材が食卓に並ぶと、苦手だったことも忘れて、ペロりと「おかわり！」大喜びする子どもたちです。

この他にも、シメジを小分けにしたり、とうもろこしの皮をむいたりなどもよいでしょう。「待たなし！」の育児で、ご苦労も多いことですが、ちょっと頑張って、お料理も遊びの一部に取り入れてしまうと、子どもの食べ物への興味・関心が倍増するし、お手伝いもできる子どもに育つのではないのでしょうか。

